

「加賀丸いも」と水稲の複合経営 南加賀地区丸いも生産協議会でGI産品登録

有限会社 岡元農場（能美市）

水稲以外の主な園芸作物等

園芸作物導入の経緯等

- ◆ 水稲単作による経営リスク分散のため、水稲の主要な作業時期と重複せず、収益性も高く、能美市の地域特産物である「加賀丸いも」を平成5年から導入。
- ◆ 加賀丸いもはソフトボール大の丸い形のやまといもで、強い粘りが特徴。
- ◆ ベテラン農家でも丸いものの特徴である丸い形に育てるのは難しく、また、皮が薄くて表面が傷つきやすく手作業も多いため、省力化していくことが課題。



※イラストはイメージです



- ・ 経営規模
水稲35ha 加賀丸いも0.8ha
- ・ 主な労働力
家族3名 雇用者2名

これまでの課題に対する対応

- ◆ 棚づくりをはじめとした栽培労力の短縮に向けて、高畝成形機を開発し、雑草抑制や乾燥防止になる白色ビニールマルチを活用して、労働時間を約7割削減に成功。
- ◆ 連作障害を防ぐため、丸いも1年、水稲2年のローテーションを堅持。これにより、土壌病害やセンチュウの発生を抑制。
- ◆ 丸いもの魅力を引き立てる料理レシピをホームページで紹介。

今後の展望等

- ◆ 自社ホームページやSNS、自社マスコットキャラクター「おこめくん」「まるいもちゃん」を活用した販売戦略を展開。
- ◆ パッケージやラベル等を自社開発し、玄米粉、本みりん「のみりん」、加工品販売を充実。
- ◆ 経営分析とドローンを活用した省力化を図る。



自社マスコットキャラクターを活用した商品